回　覧

C・Sだより

コミュニティ スクール

『東益津小中学校運営協議会』広報

令和　８年　４月　No.　４４

６年目の“東益津Ｃ・Ｓ”を推進しよう

「やきつべの里フォーラム」の協力と支援

３月 22日「第２９回やきつべの里フォーラム総会」が開催され、６年目を迎える「東益津Ｃ・Ｓ」への協力・支援計画が確認されました。地域のみんなでＣ・Ｓを推進していきましょう。

東益津地域交流センターにおいて、中野市長様・羽田教育長様をはじめとする来賓の皆様をお迎えし、１６団体の会員の皆様による「やきつべの里フォーラム総会」が開催され、令和七年度の活動が報告され、八年度の計画が承認されました。

「東益津Ｃ・Ｓ」の活動の多くは「やきつべの里フォーラム」の各団体に支えられ、充実した成果を積み重ねています。当日に放映された、小中学生の「ビデオレター」からも、子どもたちの達成感や喜びの声が伝えられました。うれしいかぎりです。

『子どもの楽校と大人の楽校』の“相乗効果”

地域の中で楽しく学び、様々なことを豊かに学び、意義のある活動を仲間と共に取り組む『楽しい学び舎（や）』を「Ｃ・Ｓ」と呼ぶならば、Ｃ＝コミュニティ＝地域、Ｓ＝スクール＝楽校で、「Ｃ・Ｓ」は『地域の“楽校”』と言えると思います。そうして、「子どもの楽校」と「大人の楽校」の二つが上手につながると、子どもたちにとっては安心で楽しい活動の場が提供され、大人たちにとっては子どもたちの元気な笑顔と活動ぶりを見ることができ、やりがいや喜びをプレゼントされます。

「子どもの楽校」と「大人の楽校」がつながり合い、相乗効果によって地域に活力が生まれることが期待されます。「地域への想い」が次世代に“バトンリレー”されることを祈っています。

◎「夢のある地域づくり」の“バトンリレー”

「ホタルの舞う里山」を目指して

３月７日、小中学生１５名が参加して、方ノ上八王子神社下の小川にホタルの幼虫を放流しました。元気に育つといいですね。

５月３０日（土）19:00～「ホタル観賞会」を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。（方ノ上えんま堂に集合）

「１０年後の桜並木」を目指して

３月１４日、東中生４名と「美農里」会員１０名が、高草山の畑総道路脇に桜の苗木１０本を植樹しました。

毎年、桜の苗木を東中生と一緒に植樹しています。畑総道路の保全と、高草山の景観を守るためです。順調に育ってくれれば、10～20 年後には美しい桜並木が見られることでしょう。

「高草山の宝物」を守っていこう

３月２９日、「ふるさとジュニアカレッジ」で「キスミレ観察」を実施しました。山桜の咲く山道を登り目的地に着きました。

林の中に、下草をていねいに刈り込み整備された「キスミレ畑」が現れました。「高草山の宝物」を保全してくれている人たちの想いを受け止め、みんなで大切に守っていきたいものですね。

Ｃ・Ｓ活動を「インスタ」〔cshigashimashizu〕でもご覧下さい。